

◆第81回定期全国大会決定事項に基づく申し入れ

【全国発信記事】道南支部 北海道函館市に申し入れ

道南支部は1月14日、函館市に第81回定期全国大会決定事項に基づく申し入れを行った。申し入れは遠藤飾北海道地方支部長兼道南支部長をはじめ、村田暎子全国海友婦人会函館支部長と福島隆史津軽海峡フェリー職場委員、そして高橋亨北海道議会議員と道畑克雄函館市議会議員にご同行いただいた。また、函館市側は、谷口諭函館市副市長にご対応いただいた。

申し入れの内容は

- ①海の日固定化
- ②船員確保・育成対策
- ③海に親しむ活動の推進
- ④船員税制への取り組み
- ⑤カボタージュ規制堅持
- ⑥フェリー旅客船の維持・存続
- ⑦海洋プラスチックごみ対策
- ⑧外国人技能実習生の権利擁護について

はじめに遠藤北海道地方支部長兼道南支部長から、谷口副市長に申し入れ文書を手渡すとともに、申し入れの趣旨を説明した。

申し入れについて函館市側からは、漁船も含めた船員確保・育成等の対策について、船員の計画的増加に向けた実効性のある取り組みは必要不可欠と受け止めている。フェリー・旅客船の維持・存続については、函館港は物資の輸送手段のみならず、仕事や旅行の移動手段として必要不可欠な交通手段であり、青函、大間航路は函館市の振興や産業経済に大きく寄与していると認識しており、重要なインフラの存続維持に向け、最大限協力していきたいなどの考え方が示された。

「海員だより」